

第184回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和2年10月12日(月) 14:00 ~ 15:45
場所	<TV会議により実施> 本部棟3階 特別会議室, 本部棟5階 大会議室, 医学部 第1会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 秋重理事, 荒瀬理事, 井川理事, 長澤理事, 肥後副学長, 出口副学長, 武田副学長, 金山副学長, 丸橋法文学部長, 加藤教育学部長, 村瀬人間科学部長, 鬼形医学部長, 廣光総合理工学部長, 井藤生物資源科学部長, 河添評議員, 山崎評議員, 石原評議員, 小俣評議員, 川向評議員, 河野評議員, 廣瀬評議員, 境評議員, 村川評議員, 杉江評議員, 松崎評議員
オブザーバー	千家監事
欠席者	田中評議員 〔陪席: 学長特別補佐 (SDGs 担当), 附属義務教育学校長, 企画部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 法文学部事務長, 教育学部・人間科学部事務長, 医学部事務部長, 自然科学系事務部長, 企画広報課長, 総務課長, 教育企画課長, 入試企画課長〕

議題1 ノートPCの必携化について

- 荒瀬理事からノートPCの必携化について説明があった。
- 松崎評議員からすでにPCを所持している学生が新たにPCを購入するか検討するための情報として, 推奨スペックに満たないPCを使用する場合はどのような不都合が想定されるのか示し, PCの貸出など大学として可能な対応があれば適切に周知すべきとの意見があった。
- 小俣評議員からTOEIC IPテストにおける動作環境についてmac OSはGoogle Chromeブラウザであれば使用できるとの情報提供があった。
- 松崎評議員から学生にmac PCのユーザーが一定数いることから, アンケート等により修学環境としてmac PCを使用することについて不都合な点がないか聞き取りをしてはどうかとの意見があった。
- 以上を踏まえ, 議題1については次回の教育研究評議会でも再審議することとなった。
- 千家監事から再審議の際には必携化に伴い発生する学生の費用負担は教育情報公表の対象項目であり, その点についても併せて審議するよう意見があった。

協議事項1 帝京大学との連携について

- 出口副学長から帝京大学との連携について説明があった。
- 長澤理事から受入学生の質の担保や本学教員の負担などについて留意し, 適切な制度設計を行っていく必要があるとの意見があった。
- 境評議員から学生の受入期間について質問があり, 出口副学長から前期期間中の半年間の予定であるとの回答があった。
- 境評議員から受入学生の住居について質問があり, 出口副学長から帝京大学の負担でアパートを借りる予定であるとの回答があった。
- 小俣評議員から文化研修とはどういったものか質問があり, 出口副学長から他の市町村への訪問などを検討しているとの回答があった。
- 松崎評議員から教育の一環として外国人留学生を地元地域に送ることについて, その受入先の確保等をどのように行う計画であるか質問があり, 国際交流センターの教員が地域を訪問し受入先の確保に努める予定であるが, 地域での受入可能な人数次第では山

陰地域に関する講義等により代替することを検討しているとの回答があった。

- 小俣評議員から授業や研修はその年の受入学生全員まとめて受講するのか質問があり、出口副学長から少人数単位での実施を検討しているとの回答があった。
- 学長からこれまで他の大学との連携で培ってきた経験を踏まえ、新たな取り組みとしていく必要があるとの意見があった。

協議事項2 地方創生に資する地方国立大学の機能強化について

- 学長から地方創生に資する地方国立大学の機能強化について説明があった。
- 松崎評議員から本件について今後様々な検討をしていくにあたりリカレント教育の観点がより重要なテーマとなるのではないかと意見があった。
- 松崎評議員から STEAM 教育を行う教員自身が STEAM 教育を学ぶことのできる環境を整備していくことが必要ではないかと意見があった。
- 小俣評議員から STEAM 教育について1つの学部主体というよりも全学を巻き込み総合大学の利点を活用した教育をする必要があるのではないかと質問があり、学長から本学の STEAM 教育に対する考え方は次回の教育研究評議会で協議する予定であり、それを踏まえて方向性を検討していくとの回答があった。

報告事項1 JICA-SDGs パートナーの認定について

- 学長特別補佐 (SDGs 担当) 松本教授から JICA-SDGs パートナーの認定について報告があった。

報告事項2 ガバナンス・コードに基づき策定する「ビジョン、目標及び戦略(案)」の検討状況について

- 学長からガバナンス・コードに基づき策定する「ビジョン、目標及び戦略(案)」の検討状況について報告があった。

報告事項3 「全国学生調査(施行実施)」の調査結果概要について

- 荒瀬理事から「全国学生調査(施行実施)」の調査結果概要について報告があった。
- 出口副学長から調査項目における海外留学の定義について確認があった。
- 出口副学長からギャップタームなどを利用した海外留学をより早い時期から可能とするようなプログラムが必要ではないかと意見があった。
- 鬼形医学部長から本学の調査回答率についてどのように捉えるべきか質問があり、荒瀬理事から本学の回答率は全国平均と大きな差はなく、特段本学の回答率が低いとは判断し難いが、調査の趣旨を踏まえて学生に調査意義を周知し回答率の向上を図るとの回答があった。
- 鬼形医学部長から学部別の回答結果があれば学部に戻元して欲しいとの意見があり、荒瀬理事から学部別の回答データを各学部と共有するとの回答があった。

報告事項4 令和3年度特別入試におけるリスク管理対応について

- 荒瀬理事から令和3年度特別入試におけるリスク管理対応について報告があった。

報告事項5 他大学等で発生した研究不正行為の紹介と本学における研究倫理意識の徹底について

- 秋重理事から他大学等で発生した研究不正行為の紹介と本学における研究倫理意識の徹底について報告があった。

報告事項6 研究倫理教育(eラーニング)の受講状況等について

- 秋重理事から研究倫理教育(eラーニング)の受講状況等について報告があった。

報告事項 7 剽窃検知ツール iThenticate のテスト導入について

- 秋重理事から剽窃検知ツール iThenticate のテスト導入について報告があった。
- 学長から学内構成員への周知方法について質問があり，秋重理事から各学部の教授会などの場で剽窃検知ツールの業者とともに利用方法等の周知を行う予定であるとの回答があった。

報告事項 8 令和元年度予算・決算について

- 長澤理事から令和元年度予算・決算について報告があった。

報告事項 9 令和 3 年度概算要求の概要について

- 長澤理事から令和 3 年度概算要求の概要について報告があった。

報告事項 10 教員の採用等について

報告事項 11 国際交流協定の締結について

- 報告事項 10 及び 11 は口頭での説明は省略された。